



①ハンドルバーはブラックライザーにセットされたフラットバー。完璧レプリカである。②三又カバーはローライダーのロゴが入った本物。そろそろ手に入りにくいパーツである。③19インチのキャストホイールはH-Dノーマル。フロントフェンダーはスチール製で、80年代のFX/XL系に採用されていたノーマルである。④バーハンドルはシンプルなシルエツでファンも多い。⑤ガソリンタンクは現行スポーツスターのノーマルを使用。ペイントワークでFXになる。タンクナセルを製作し、スピードメーターはその中へ。⑥メッキ仕上げとなっているのは1200Cがベースになっている証である。⑦タンクナセルは取り外すことができ、給油も容易に行える。ちなみにこのパーツは単品販売されていない。⑧シートはレインボーのオリジナル。本物のFXに採用されていたシルエツを見事に再現した。

CUSTOM SPECIFICATION

ベース車両	2013 XL1200C	メーカー	価格
主な変更点			
Fフェンダー	H-D		—
Rフェンダー	H-D		—
ガソリンタンク	H-D		—
Fホイール	H-D		—
Rホイール	H-D		—
Sメーターダッシュ	レインボー		—
シート	レインボー		—

現在のFX系はかなり剛性の高いためのインナーチューブを採用したフロントフォークが多く、シヨベルからエポリユーション時代のFX系を再現するには不正確なのだ。その点、旧スポーツスターよりも若干大型化された現行スポーツスターは、古いFX系とシルエツが近い存在にあるので、レプリカを製作する上で好都合というのが、製作の理由である。細かい部分を観察すると、シートの形状やハンドルバーのシルエツ。そしてシヨップオリジナルとして製作されたタンクナセル内に移動されたスピードメーターなど、どこまでも本気のレプリカ製作へのこだわりが感じられるのだ。そして三又カバーはローライダーの文字が入った本物。ここまでやれば、もう見事と言えない。

現在、このレプリカ系コンプリートは販売を終了し、レインボーでは新たなコンプリートカスタムを製作中だ。そのセンスは他に類を見ないものである。

ハーレーダビッドソン レインボー
029-822-6666 <http://www.rainbow-mc.jp/>
Text&Photo モリヤン

思わず見間違える旧FXレプリカ

2013 XL1200C
スポーツスター1200カスタム

一見するとシヨベル時代のローライダー。しかし、良く良く見ればエポリユーションのローライダーか、いや、これは現行スポーツスターをベースに製作されたローライダーレプリカなのだ。

レインボーが作り上げたカスタムの中には現行スポーツスターをベースにした旧FX系のレプリカというカテゴリーがある。かつてはフレイム塗装を施したワイドグライドレプリカも製作され話題になったが、そのどれもが見事なまでにスタイリングバランスのとれたプロポーシヨンとなっているものばかりなのだ。

その理由は、細身のフロントフォーク

BASE MODEL
2013 XL1200C
スポーツスター1200カスタム





2014 FXSB

◎価格:248万円

人気のブレイクアウトをベースにライトカスタムしたモデル。変更点はリアフェンダーで、ソフトテイルカスタムに使用されていたボブテイルのフェンダーが違和感なく装着されている。

ボブフェンダーの装着は、フェンダーステーの製作やストラットの変更など、意外なほど大変な作業が必要だが、まるで純正品のような仕上がりが。細かい部分ではウインカーの装着位置の変更など。ガソリンタンクは現在ストックのままだが、ここにナセルを製作して、スピードメーターを移設するというパーツ製作が進められている。次期コンプリートは、さらに進化するようだ。



2014 FLD

◎価格:273万円

ダイナ系で唯一のFLモデルであるスイッチバック。兄貴分のツーリング系に比べるとひと回り小振りな車体で軽快な取り回しが魅力なハーレーだ。取り外し可能なヤッコカウルを製作し、装備したカスタム。



完全ボルトオンで脱着可能なヤッコカウル。ショベル時代のFLはノーマルでも同じように取り外し可能だったので、そのコンセプトを受け継ぐカスタムとしてコンプリート販売されている。他にはエンジンガードの取り付けと、ハンドルバーの変更。現在、パールホワイトカラーのスイッチバックも店内に展示されている。



茨城県の土浦市国道6号線の旧道沿いにあるレインボーは、以前からコンプリートカスタムを数多く手がけ、販売してきたハーレーディーラーである。そのコンセプトは、まるでノーマル車両のような違和感のない仕上がり。これまで製作したコンプリートカスタムは、スポーツスターをベースとして、ショベル時代のFX系のレプリカなど、ユニークな作品が多いが、そのどれもがまるで純正車両として元々存在するかのようなシルエットで製作されている。現在販売されているコンプリートカスタムは、ここに紹介する3台目で、これまでの旧FX系レプリカとはまたイメージを変えた作品となっていて興味深い。レインボーのカスタムは、少し気の効いたアイデアに溢れているのだ。



Harley-Davidson RAINBOW

まるで純正品のようなクオリティを目指したカスタム



ハーレーダビッドソン レインボー

〒300-0817 茨城県土浦市永国1059-6
TEL:029-822-6666
FAX:029-822-6667
営業時間:10:00-19:30
定休日:毎週木曜日 第3水曜日 祝日
<http://www.rainbow-mc.jp/>

今すぐ欲しい!カスタムハーレー **The complete custom world**

クラシカルなカスタムテイストで、スリムで華やかなイメージのベース車両を、ベーシックで軽快な70年代当時のスポーツスターを思わせるようなシルエットに変更。ガソリンタンクのカラーリングは、ウイリーGが最初に手掛けたボブテイルのFXがモチーフだ。フルバックハンドルやラウンド型のエアクリナー。そしてレインボーのオリジナルシートの組み合わせは、絶妙なクラシカルテイストを表現している。リアフェンダーもスタンダードタイプに交換されている。



XL1200V

◎販売済み・製作可能車両

メーカー純正カスタムでもあるセブティーターをベースに、カラーリングモディファイと、ライディングポジションの変更が施されたカスタム。フルバックハンドルとミッドコントロールステップの組み合わせは、乗りやすさに貢献する。